

有害化学物質等

1. 有害大気汚染物質

有害大気汚染物質については、平成8年5月の大気汚染防止法の改正により、大気中の濃度は低くても、継続的に摂取される場合には、人の健康を損なうおそれのある物質として有害大気汚染物質234物質が定められ、さらにその中でも有害性の高い22物質については優先取組物質として定められました。

本市においては、大気汚染防止法の政令委任市となった平成11年度より、市内2地点において環境モニタリングを実施しています。

平成20年度の環境モニタリングは、優先取組物質22物質の内、環境基準が定められている等、緊急性の高い揮発性有機化合物（VOCs）9物質とアルデヒド類2物質の計11物質について実施しました。その結果は、八尾保健所局及び太子堂局の両地点において、全ての項目が環境基準等を満たしておりました。

●有害大気汚染物質モニタリング結果（年平均値）（単位： $\mu\text{g}/\text{m}^3$ ）

測定地点		環境基準 および 指針値	八尾保健所局 （一般環境）	太子堂局 （沿道）
測定項目				
VOCs	アクリロニトリル	2	0.055	0.061
	塩化ビニルモノマー	10	0.018	0.026
	クロホルム	18	0.24	0.23
	1,2-ジクロエタン	1.6	0.16	0.22
	ジクロメタン	150	8.6	11
	テトラクロエチレン	200	0.77	0.78
	トリクロエチレン	200	2.4	3.5
	1,3-ブタジエン	2.5	0.25	0.42
	ベンゼン	3	1.9	2.4
アルデヒド	アセトアルデヒド	—	3.1	3.6
	ホルムアルデヒド	—	3.2	4.0

2. ダイオキシン類

ダイオキシン類は、有機塩素化合物の一種で主に物の焼却時に発生します。この物質は、無色無臭の固体で、ほとんど水には溶けず固体の状態で存在しますが、脂肪などには溶けやすく、主に動物の体内に蓄積されやすい性質をもっています。

その毒性は、人工物質としては最強と言われており、発がん性や環境ホルモン（外因性内分泌攪乱物質）の作用もあると考えられています。

平成12年1月には、ダイオキシン類対策特別措置法が施行され、全国的にダイオキシン類の実態把握と排出抑制対策を実施することになりました。

本市では、市内のダイオキシン類の汚染実態を把握するため、平成11年度より大気、水質、土壌、底質等の環境媒体について汚染の状況を調査しています。

平成20年度の調査結果は、河川水質の玉串川（J Aグリーン大阪前）、恩智川（福栄橋下流100m）で環境基準値を上回っていましたが、それ以外の測定地点では全て下回っていました。

なお、以前から度々環境基準を上回っている恩智川と玉串川につきましては、大阪府において追跡調査が実施され、本市もともに取り組んでいます。また、平成17年度に基準超過した平野川につきましては、大阪府と協議し、平成19年度に引き続き追跡調査を実施しました。

● 平成20年度ダイオキシン類調査結果（大阪府・八尾市実施分）

環境媒体	測定場所	測定結果	単位	環境基準
大 気	八尾保健所局※	0.055	pg-TEQ/m ³	0.6
	志紀小学校	0.063		
河川水質	恩智川（福栄橋下流100m）※	1.3（年平均値）	pg-TEQ/l	1
	平野川（東竹渕橋）	0.66（年平均値）		
	玉串川（JAグリーン大阪前）※	1.5（年平均値）		
河川底質	恩智川（福栄橋下流100m）※	1.5	pg-TEQ/g	150
	平野川（東竹渕橋）	0.87		
	玉串川（JAグリーン大阪前）※	1.5		
地下水質	久宝園3丁目	0.017	pg-TEQ/l	1
	西弓削3丁目	0.040		
土 壤	市立 成法中学校	0.27	pg-TEQ/g	1,000
	市立 大正北小学校	0.084		

注）※は大阪府実施の調査である。

3. アスベスト

アスベストは天然に存在する繊維状の鉱物で、熱や酸、アルカリに強く、丈夫で変化しにくいいため、建材、ブレーキライニングやブレーキパッド、防音材、断熱材、保温材など幅広く使用されてきましたが、現在は原則として製造等が禁止されています。アスベストの繊維は中皮腫、肺がん、じん肺等の疾病の原因とされており、潜伏期間が15～50年程度と考えられています。

本市においては、アスベスト問題に対する総合的対策を推進するため、平成17年7月に「八尾市アスベスト対策本部」を設置し、相談窓口の開設やホームページによる情報提供、市域における環境調査等を実施しています。平成20年度の環境調査結果は全ての地点で世界保健機関（WHO）の環境保健クライテリア※と比べて十分低い濃度でした。

※世界保健機関（WHO）の環境保健クライテリアでは「世界の都市部の一般環境中のアスベスト濃度は1～10本/l程度であり、この程度であれば健康リスクは検出できないほど低い」とされています。

●平成20年度アスベスト環境モニタリング調査結果（8/11～8/13実施）

調査地点名	地域分類	アスベスト濃度（本/l）	
		幾何平均値	最小値～最大値
①八尾市立北山本小学校	住宅地域	0.15	0.11～0.21
②大阪府八尾保健所	住宅地域	0.087	0.054～0.11
③八尾市立中高安小学校	住宅地域	0.11	0.053～0.22
④八尾市立大正小学校	住宅地域	0.081	0.053 未満～0.10